

長寿社会への 架け橋づくり

在宅福祉の充実を



県内の65歳以上の高齢者は約16万3,000人、県人口の15%を占めています。この比率は全国平均を3%上回り、今後もこの水準で高齢化社会へ推移していくものと見込まれています。

「長寿」は、はるか昔から人類が求めてやまなかつた永遠のテーマです。高齢者が日常生活を不安や心配もなく、また家族の方も安心して暮らすことのできる長寿社会。誰もが「ここに生きていて良かった」と喜びあえる長寿社会。在宅福祉施策の充実は、そんな明るく豊かな長寿社会への架け橋づくりなのです。

施設福祉と在宅福祉

食事や入浴、身の回りの世話など、なんらかの援護が必要な高齢者への対策は、施設福祉と在宅福祉に分けられます。

現在、老人ホームの整備など施設福祉対策は、和歌山県は全国において非常に高い整備状況となっています。一方、家庭での介護を中心とした在宅福祉対策については、これから更に充実を図っていく必要があります。

高齢者の大部分は「家族に囲まれ、住み慣れた地域に住み続けたい」と願っています。明るく豊かな長寿社会を築くためには地域社会全体の中での在宅福祉サービスを普及していくことが望まれています。

在宅福祉の三事業

ホームヘルパーの派遣、デイ・サービス、そしてショートステイ。県、市町村では昨年度から三年間をかけて、これら在宅福祉三事業の整備を進めています。

食事、排せつ、入浴などの介護サービスや、洗濯、掃除、買い物などの身の回りのお世話など、ホームヘルパーは、高齢者の自宅に出向きサービスを行います。市町村の社会福祉協議会からの派遣が中心ですが、今後は、特別養護老人ホームからの派遣なども予定されています。

老人ホームなどの施設で日帰りの介護サービスを提供するのがデイ・サービス。入浴、食事、日常動作訓練などが主なサービスです。現在、デイ・サービスを実施している施設は16カ所ですが、老人憩の家など身近な施設においてもサービス提供ができるよう、整備を図っています。

ショートステイは、特別養護老人ホームなどの短期間（7日程度）の介護サービスです。日頃、介護されている家族の方が病気、事故、介護疲れなどで休養をとりたいときに利用できるようになっています。ショートステイは県内の全ての特別養護老人ホームなどの施設で実施できるようになっていますが、より充実した設備の整備が予定されています。

これらのサービスを利用しながら高齢者やその家族が毎日安心して生活を送ることができる、そんな環境をめざして、在宅福祉は進められています。

在宅サービス利用券制度

在宅福祉の三つのサービスを簡単に利用できるよう、全国にさきがけて在宅サービス利用券制度が導入されました。

この利用券制度により、電話でサービスが受けられるなど、簡単に在宅福祉が利用できるようになりました。

利用券は、65歳以上の在宅の方で、日常生活になんらかの介護が必要な方を対象に市町村で交付しています。

▶ サービスの利用

利用券の交付を受けた方は、必要なときに市町村等の窓口に申し込むと、施設の利用やホームヘルパーの派遣など希望のサービスを受けることができます。

利用料金は、おおむね次のとおりです（低所得の方は無料になる場合があります）。

● ホームヘルパー派遣

所得に応じて1時間あたり200～650円

● デイ・サービス

原材料費などの実費程度

● ショートステイ

1日あたり1,900円程度

※在宅福祉サービスについて、くわしくは市町村老人福祉担当課

県庁老人福祉課、各県事務所民生課

シルバー110番 ☎(0734)23-1166

までお問い合わせください。

'90 県政の歩み

今年ももう12月。時の流れの早さには本当に驚かされてしまいますが、みなさんにとつての'90年。どんな年だったでしょうか。

一年の締めくくりにあたり、「今年の和歌山県」を振り返ってみました。



おしらせ



20日	精神障害を持つ方のための社会 福祉施設「麦の郷」が和歌山市 に完成
27日	関西国際空港の開港にあわせて 行われる世界リゾート博の基本 計画を発表。会場は和歌山マリ ンググラウンド
4日	国道311号新達坂トンネル(中辺 路町)開通
1日	みぐまの養護学校(新宮市)が 開校

県庁・県教育庁は 〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

熊野路の文化財を訪ねる会

日時 平成3年1月18日～20日
場所 潮岬青年の家(串本町)
ほか2泊3日

対象 県内在住で文化財に関心
のある方
参加費 12,000円
申込方法 ハガキに住所、氏名、
年齢、電話番号を記入し12月25
日(必着)までに〒649-35串本
町潮岬668-1 県立潮岬青年の
家(0735)6-21018

特別スポーツ教室受講生

2へ 定員は40名で申込多数の
場合抽選します。

課程	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	
保 健 婦	県立高等看護学院 保健学科	和歌山市	(0734) 44-5582	
助 産 婦	県立高等看護学院 助产学科	〃	〃	
看 护 婦	県立高等看護学院 看護学科1部	〃	〃	
3年課程	和歌山赤十字看護専門学校	〃	(0734) 22-4171	
看 护 婦	社会保険紀南看護専門学校	田辺市	(0739) 22-1592	
2年課程	和歌山労災看護専門学校	和歌山市	(0734) 52-0987	
准看護婦	県立高等看護学院 看護学科2部	和歌山市	(0734) 44-5582	
	国立療養所和歌山病院附属看護学校	美浜町	(0738) 23-1506	
	県立南紀高等学校専攻科	田辺市	(0739) 22-3776	
	県立医大紀北分院付設准看護学校	かつらぎ町	(0736) 22-0066	
	国保野上厚生総合病院附設准看護学院	野上町	(073489) 2178	
	日高准看護学院	御坊市	(0738) 22-1111	
	和歌山市医師会附設和歌山准看護学院	和歌山市	(0734) 45-9806	
	田辺准看護学院	田辺市	(0739) 22-1978	
	新宮市医師会准看護学院	新宮市	(0735) 21-2529	
	和歌山県精神病院協会准看護学院	和歌山市	(0734) 45-2070	
	県立南紀高等学校	衛生看護科	田辺市	(0739) 22-3776

願書の受付日、試験日、受験
料等は、各学校、養成所または
県庁医務課へお早めにお問い合わせ
ください。

このような少年少女向けの「三
ツツ漫画等の悪書が数多く販売
され、全国的にも社会問題化し
ています。

県民の皆さんも、このような
悪書について、「買わない」「読
まない」「読ませない」の三不
い運動にご協力いただきますよ
うお願い申しあげます。

悪書追放にご協力を

最近、著しく性的感情を刺激
するような少年少女向けの「三
ツツ漫画等の悪書が数多く販売
され、全国的にも社会問題化し
ています。

県民の皆さんも、このような
悪書について、「買わない」「読
まない」「読ませない」の三不
い運動にご協力いただきますよ
うお願い申しあげます。

このような悪書が、青少年の
健全な成長に及ぼす影響は非常
に大きいものがあります。

県民の皆さんも、このような
悪書について、「買わない」「読
まない」「読ませない」の三不
い運動にご協力いただきますよ
うお願い申しあげます。

県内で生産、加工された土産
品の品質などを審査し、合格品
には推せん票をちょう付すること
ができます。ご希望の方は所
定の申請書により12月21日まで
に各県事務所産業課(和歌山市
の場合は市役所観光課)へご応募
ください。なお審査会は2月13日です。
くわしくは県庁観光課または
申込先へ

県優良土産品推せん審査会 への出品

2へ 定員は40名で申込多数の
場合抽選します。

人権問題に関するお悩みの方
は、お気軽にご相談ください。
和歌山地方法務局人権擁護課 ☎
(0734) 22-5131

12月4日～10日は
人権週間です
北 方 領 土
者とどう知ろう語らう

県内文化振興課国際交流室の
移転に伴って、旅券(パスポート)
の申請場所が12月3日から
次とのおり変わります。従来は
いいいの村わやま(わやま町)
吉備工業用地に共同印刷など
社の進出が決定
新しい新装オープン

建築士のみなさんへ
建築士は建築士法に基づき、
住所、勤務先等について、免許
証交付の日から30日以内に、都
道府県知事に届け出ることとな
っています。

また、建築士会では、届出の
徹底を図る意味も含めて、実態
調査を行っていますので、ご協力く
ださい。
くわしくは県庁建築課へ

20日	16日	17日	7月	4日	30日	1日	2日	1日	1日	30日	26日
16日	17日	18日	8月	4日	18日	1日	1日	1日	1日	30日	26日
19日	1日	2日	9月	30日	18日	1日	1日	1日	1日	30日	26日
25日	15日	5日	11月	31日	17日	16日	13日	10日	29日	25日	25日
20日	16日	17日	11月	31日	17日	16日	13日	10日	29日	25日	25日

7月

16日 リゾート開発が見込まれる地域を中心には地図の監視区域を拡大(今年の回目、計4回目)
花園村にしよう油ダルを利用したユニークな「タルの村」オープン
ブン

17日 南方熊楠記念館25周年特別展「人といふこと」開催
今年は国際識字年。その意義について考えると「認能の集い」を開催
大型の台風19号が日本海上陸。あい次いで20号、21号と豪雨を襲い大きな被害をもたらす。

8月

4日 県農業大学校(かづらぎ町)にバイオテクノロジーの実習施設完成
災害などの緊急時に威力發揮。県防災行政無線システム完成

18日 粉河~熊取(大阪府)間の府県間バスがスタート
昔の二七札や運転免許証などさまざまな資料を集めた県警資料室がオープン(警察学校内)

30日 熊野古道を舞台とした県の観光キャンペーン「古道ピア」が盛大に開幕(~10月21日)

9月

1日 広く県民の皆さんから募集中いた「新不老橋」(和歌山市和歌浦で建設中の)の名称が「あしべ橋」に決定

1日 県庁で全行业的に再生紙の利用を開始

1日 生涯スポーツの祭典「第9回全国スポーツレクリエーション祭」開催。全国から約3万4千人が参加して、お互いの友好を大切に、さわやかな汗を楽しんだ。

10月

16日~13日 「かがや紀の女」開催
女性問題を考える「ボディ」コースモパーク加太計画の具体的なプロセスに参画する民間14社が決定

10月

16日~13日 「あんま、マツサージ、指圧」講習会
法律の一部改正に伴い、あんま、マッサージ師等の資質向上を目的に講習会が行われます。

10月

16日~13日 「あんま、マツサージ、指圧」講習会
対象 県内にお住まいの免許取得者

10月

16日~13日 「あんま、マツサージ、指圧」講習会
場所 県社会福祉センター(県立体育館隣)

10月

16日~13日 「あんま、マツサージ、指圧」講習会
局 (0734) 22-7272

11月

25日 下津田でマリーナシティ埋立用地の土砂採取工事スタート
国大會開催

15日 ふるさと誕生日の記念イベントが田辺で行われ、和歌山県の誕生日を盛大に祝う

5日 山口県立地構想の中心的施設和歌山リサーチラボ設立。地域産業の高度化がねらい。
西日本の17府県との経済団体で第2回の国土軸構想推進協議会を設立。愛知・和歌山・長崎を結ぶ新しい第2の国土軸の建設をめざす。

11月

25日 まつたくというほど変わらなかつた。昨日だって本当は、すぐいやだった。みんなが離れていく様な気がしたからだ。先生が言つたものの「いや」という気持ちちは、まったくいうほど変わらなかつた。昨日だって本当は、すぐいやだった。みんなが離れて立てやろうかなと何回も思った。人権の時間も、先生に指名されたら意見を言ったけれど、本当は今すぐにでも教室から飛び出して立いてやろうかなと何回も思った。

11月

25日 人生いろいろで山あり谷ありだけどけれど、泣いたら情け無いし泣くってことは負けを認めることだから泣けなかった。人権の授業の後時間とかなんだかはずかしくて

11月

25日 同和連載

現地学習感想文

橋本市 橋本中学校三年 住田麻紀

11月

25日 おしらせ

県民文化会館 (0734)36-1331
宝くじ文化講演会・和泉雅子 12月10日 午後6時30分~小ホール 整理券

紀南文化会館 (0739)25-3033
田辺第九演奏会 12月16日 午後3時30分~ 大ホール S 4,000円 A 3,500円 学生2,500円

植物公園緑花センター (0736)62-4029
緑のコンサルタント 12月16日

12月1日~1月10日 年末年始の交通事故防止

おしらせ

催し

県民文化会館 (0734)36-1331

宝くじ文化講演会・和泉雅子 12月10日 午後6時30分~小ホール 整理券

紀南文化会館 (0739)25-3033

田辺第九演奏会 12月16日 午後3時30分~ 大ホール S 4,000円 A 3,500円 学生2,500円

植物公園緑花センター (0736)62-4029

緑のコンサルタント 12月16日

お気軽にどうぞ

●

交通事故相談

〔常設相談〕月~土曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時~2時 ●東牟婁県事務所 每月第1、3月曜日 受付 午前10時まで

〔巡回相談〕●西牟婁県事務所 12月18日 ●伊都県事務所 12月26日 ●日高県事務所 1月8日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月~土曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前11時まで 場所 県庁県民相談室

■12月3日から県庁交通事故相談所、県民相談室は次の場所に移転します。

移転場所 県庁北別館1階(従来は北別館2階)

あんま、マツサージ、指圧
講習会立体育館隣)
受講料、申し込み(12月10日まで等のお問い合わせは県鍼灸マッサージ会館内 講習会事務局 (0734) 22-7272年末年始の交通事故防止
12月1日~1月10日
飲酒運転、無謀運転を追放して、年末年始を楽しく過ごしましょう。また、安全運転のためにも、年2回の愛車(バス、大型トラック等は月1回)の定期点検をくわしくは県内の各保健所必ず実施しましょう。

くじら祭りで「ワッショイ！」



くじらの町太地町で十一月三日・四日の両日にぎやかに「くじら祭り」が開催されました。町の活性化と伝統芸能の継承を願つて始まつたこの祭りも今年で六回目、町民の間にもすっかり定着しています。

三日の前夜祭でコーラスやカラオケを楽しんだ後、四日の本祭へ。この日はあいにくの雨ということで会場は室内に移されました。太地ならではの鯨太鼓や鯨おどりなど郷土芸能の披露や、園児たちの「おまつりドドン」の演技は、「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声とともに元気いっぱい。

会場には模擬店も登場して、チビッコたちで大にぎわいです。町の人々が一体になつた手づくりの祭り「いつまでも続けて欲しいな」とつて思いました。

(太地町)



ぬくもりを感じてください 福祉の店「フレー・愛」が オープン

和歌山市の丸正百貨店5階のおもちゃ売場に障害者の方が作った製品を展示・即売するコーナー「フレー・愛」が登場して話題を呼んでいます。

県内の授産施設や更生施設などでは障害者の方々が自立をめざして製品づくりに取り組んでいますが、販路開拓の難しさが大きな悩みの種でした。

それだけにこの福祉の店「フレー・愛」が誕生したことは、関係者にとって大きな励みになっています。

キーホルダーやサイフ等の革製品、おもちゃなど商品は約60種。障害というハンディをのりこえて、ひとつひとつ心をこめて作られたものばかりです。

ぜひ一度お立ち寄りください。

製品についてのお問い合わせは県心身障害児者父母の会連合会 (0734) 41-2533へ



喜びも新たに —県文化表彰表彰式—

文化の発展、向上に貢献のあった方々に贈られる平成二年度県文化表彰の表彰式が十一月二日県庁で行われました。今年の文化賞は作家の久野次郎(本名中西久夫)さん、「紀州の方言」の執筆など郷土の研究にも尽力されています。その他文化功労賞には松長有慶さん(密教学者、前高野山大学長)また文化奨励賞には杉谷昭子さん(洋画家)と団体で木国文化財協会(会長木原登)、芥川賞受賞作家の辻原登(本名村上博)さん、野田裕示さん(洋画家)と団体で木国文化財協会(会長木原登)が受賞しました。受賞者の皆さんのがんばりを祈りし

勇壮、華麗、復活 「和歌祭」



さわやかな秋空が広がった11月3日、紀州徳川家ゆかりの和歌祭が和歌山市で盛大に行われました。

かつては日本三大祭の一つにも数えられていたというこの祭りは、資金や人手不足などの理由でしばらくとだえていましたが、地元の人たちの熱心な努力が実って、6年ぶりに復活したものです。

和歌浦東照宮の急な石段を勇ましくかけおりる神輿の山おろしや、華やかな時代衣装に身を包んだ渡御行列などに和歌浦地区周辺はお祭りムード一色。

路上で獅子舞とたわむれる子供たち、家の窓から行列をくいいるように見つめるおじいちゃん。なつかしさと熱気にあふれた「祭りの一日」でした。

(和歌山市)



寄つておいで 小鳥たち



和歌山市東山東の和歌山自然観察の森。森林の自然をそのまま生かし、訪れた人が四季の花、草木、鳥、虫たちにじかに触れあえる森にと、来年三月の完成をめざして整備が行われています。

十一月三日、県鳥獣保護員連絡会海草支部の主催により「実なる木」の植樹会が開かれました。和歌山市松江の緑の少年団の子供たちの手により、ナンテンなど野鳥が実をつけめる約三十本の「実なる木」が植えられています。鳥がいっぱいの森になればと、子供たちも真剣です。

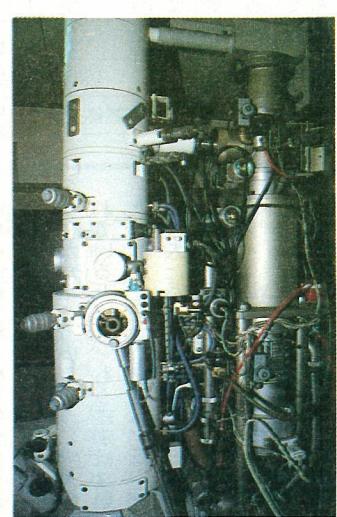
植樹の後は、巣箱づくり。のこぎり、かなづちを使った手づくりの巣箱十八個が木に掛けられました。森の完成が待ち遠しいですね。

(和歌山市)

が
あ
き
と

ハッ！と気が付くと、今年も残すところ一ヶ月。みかんや柿の収穫に大わら意氣あがる皆さん、などなど、一年中で一番活気のある季節です。そして、あわただしいなかにも新しい年に向け、なんとなくワクワクする年末。仕事や忘年会にオツカレサマの人も……。

今年も一年間県民の友を配布していただきたい皆さん、本当にありがとうございました。来年もどうかよろしくお願いします。



ミクロ世界への挑戦
瀬藤 象二

シリーズ 58
ふれあひとくの知識

電子顕微鏡